

# dyson purifier humidify+cool formaldehyde

## dyson purifier humidify+cool

### 取扱説明書

Dyson Purifier Humidify+Cool

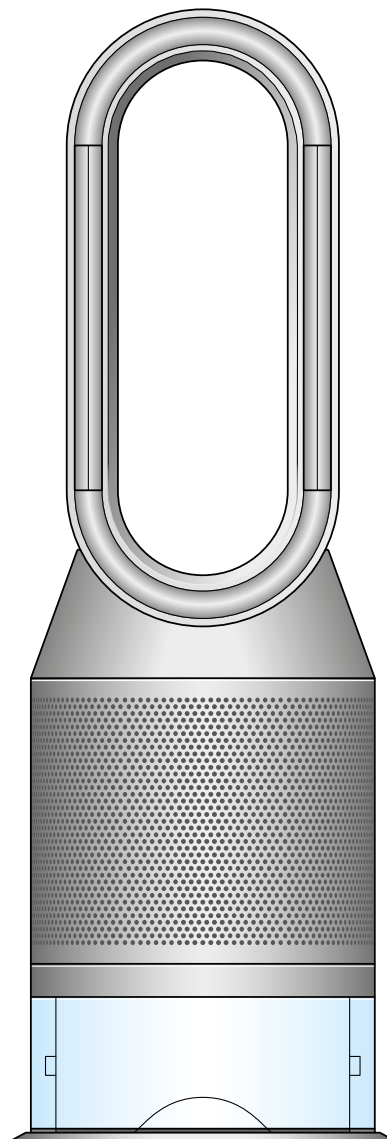
Formaldehyde™

加湿空気清浄機(PH04)

Dyson Purifier Humidify+Cool™

加湿空気清浄機(PH03)

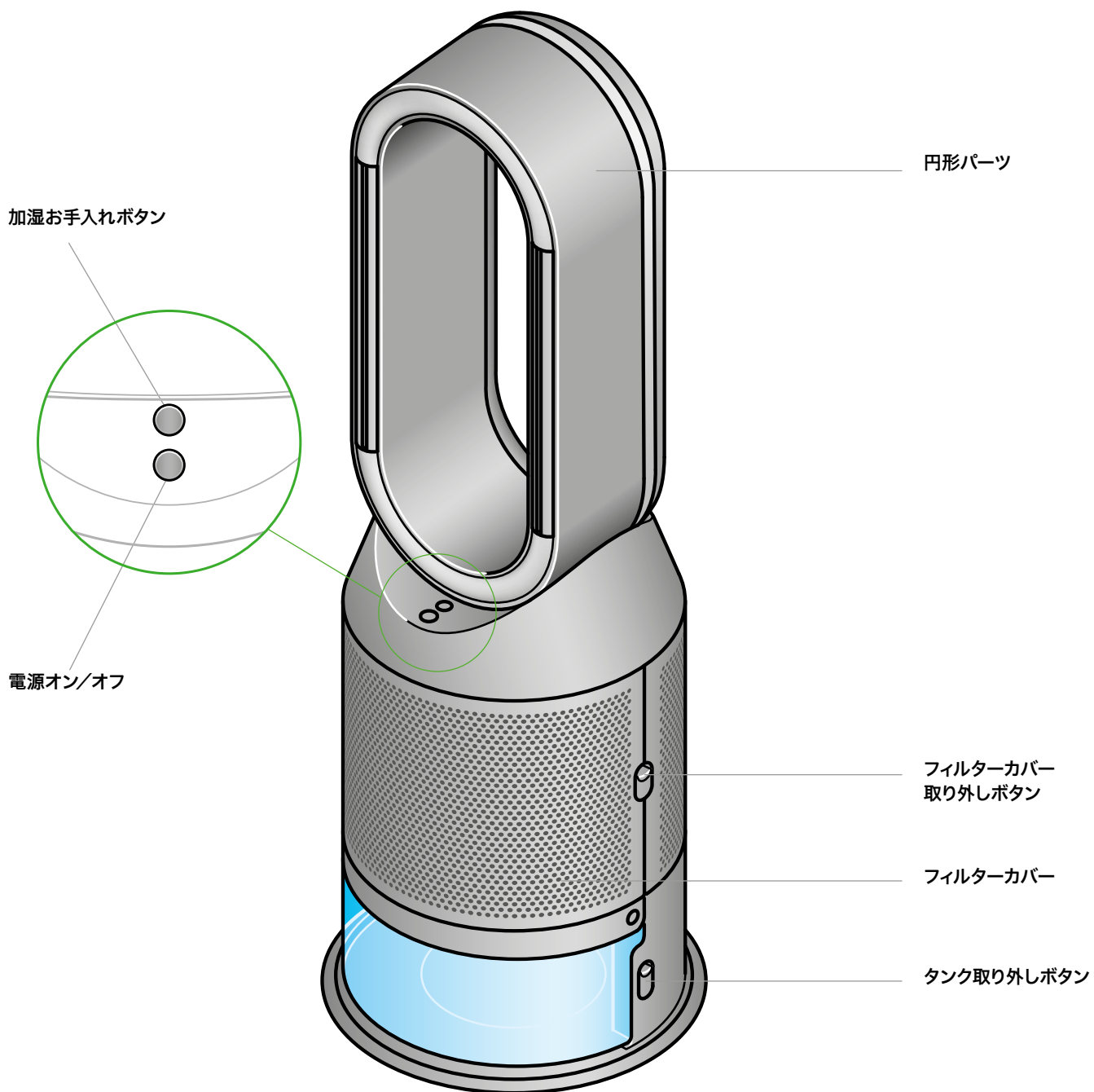
本製品の仕様およびデザインは、予告なしに変更することがあり、  
また、掲載された仕様やイメージ(イラストや写真)は、  
実際と異なる場合があります。



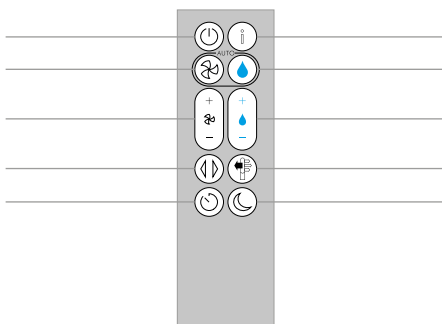
## 目次

2	操作	8	風向調節/スウィング
3	組み立て	9	風量と送風方向
4	Dyson Linkアプリへの接続	9	スリープタイマー
5	タンクへの給水	9	ナイトモード
6	本体の運転と連続モニタリング	10	加湿お手入れ
7	情報メニュー	13	空気清浄フィルターの交換
8	オート(自動)空気清浄モード	14	お手入れ
8	オート(自動)加湿モード	14	エラーコード

# 操作



電源オン/オフ  
オート(自動)空気清浄モード  
風量調節  
風向調節/スウィング  
スリープタイマー



情報メニュー  
オート(自動)加湿モード  
湿度調節  
送風方向  
ナイトモード

# 組み立て

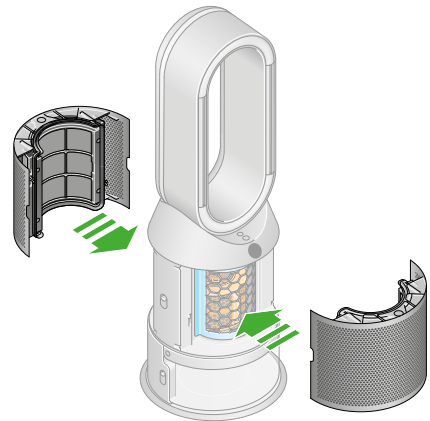
本製品の胴体部分を両手で持ち上げ、箱から取り出してください。

円形パーツを持って持ち上げないでください。

本製品には、グラスHEPAフィルターと活性炭フィルターが一体化した空気清浄フィルターが同梱されています。

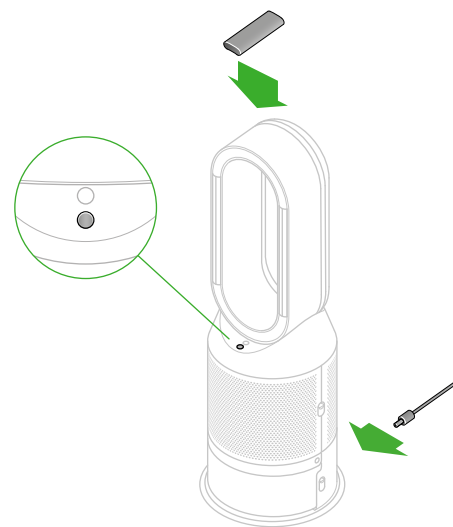
空気清浄フィルターはフィルターカバーに取り付けられています。保護材を取り外し、フィルターカバーを本体に取り付けてください。

※酸化分解触媒フィルター（PH04のみ）は本体に取り付けられています。



リモコンは操作面を下に向け、本体の上部に取り付けてください。

電源プラグを差し込んで、電源をオンにしてください。



# Dyson Linkアプリへの接続

Dyson Linkアプリのステップに沿ってセットアップを行ってください。  
どこからでも製品の操作や設定の変更、稼働状況の確認ができます。  
自動更新により、ソフトウェアを常に最新の状態に維持できます。

App StoreまたはGoogle PlayからDyson Linkアプリをダウンロードしてください。  
アプリを開き、画面上の手順に従って新規アカウントを作成してください。

AppleおよびAppleロゴは米国およびその他の国でApple Inc.の商標として登録されています。  
App Storeは米国およびその他の国でApple Inc.のサービスマークとして登録されています。  
Google PlayおよびGoogle Playロゴは、Google LLCの商標です。



# タンクへの給水

タンクを取り外す前に、加湿モードがオフになっていること、タンクが空になっていることを確認してください。

## 重要:タンクのふたは水洗いしないでください

タンクのふたには、本体に通電するための端子があるため、水で直接洗わないでください。

また、給水やお手入れの際に、端子が水に濡れないよう十分にご注意ください。水に濡れると故障の原因になります。

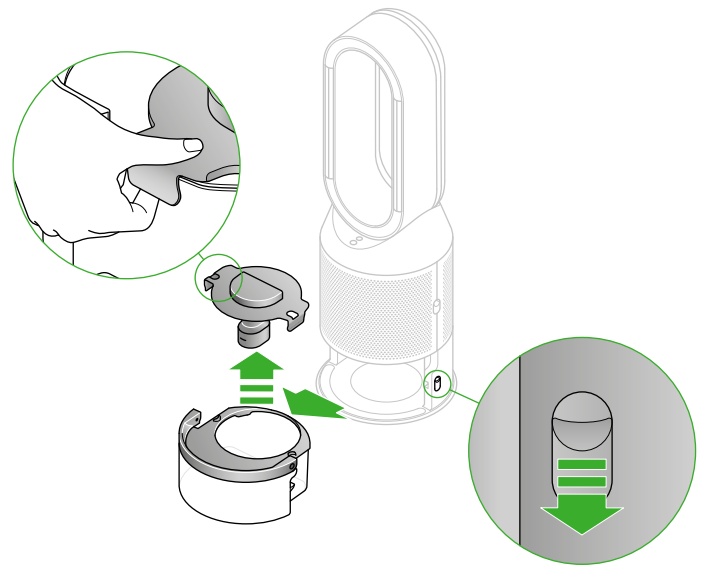
万一、水に濡れた場合は乾いた布などでよく拭き取り、完全に乾かしてからご使用ください。

## タンクを取り外す

タンクの両側にある「タンク取り外しボタン」を押し下げます。

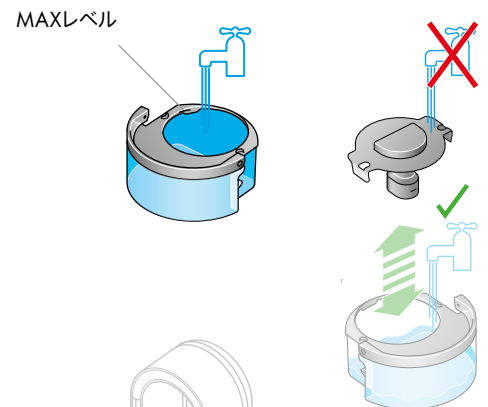
タンクを手前に引いて本体から外してください。

タンクのハンドルを持ってシンクへ運び、ふたを外します。



## 給水する

タンクのMAXLレベルまで水道水を注いでください。



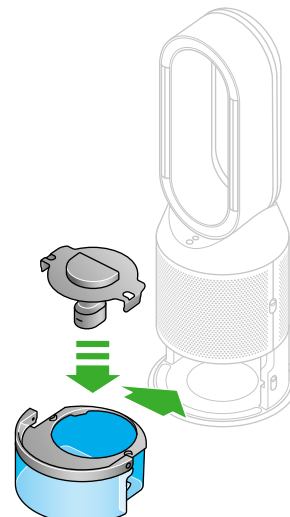
## タンクを本体に戻す

ふたが完全に乾いていることを確認し、タンクに取り付けます。

両側の耳の部分がタンクにしっかりと取り付けられていることを確認してください。

濡れた場合は、乾いた布でよく拭き取ってください。

タンクを本体の所定の位置にしっかりと押し入れてください。



# 本体の運転と連続モニタリング

## 電源オン/オフ

本製品本体またはリモコンの「電源オン/オフ」ボタンを押すことで、本製品の運転と停止ができます。

連続モニタリングが有効に設定されている場合、運転を停止しても、空気質のモニターは継続して行われます。

## 連続モニタリング

連続モニタリング機能は、初期状態では無効になっています。

一旦、連続モニタリング機能を有効にすると、手動で切り替えない限り、有効の状態が続きます。

連続モニタリング機能を有効にすると、本製品は室内の空気質、室内温度、室内湿度の情報を収集します。

この情報はLCDディスプレイとDyson Linkアプリでご確認いただけます。

## 連続モニタリング機能の有効/無効

連続モニタリング機能の有効/無効を切り替えるには、リモコンの「オート(自動)空気清浄モード」ボタンを5秒間長押ししてください。

## Wi-Fiへの接続

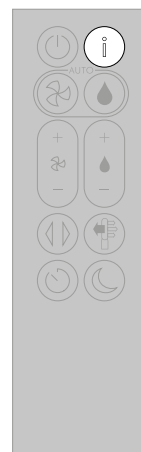
Wi-Fiへの接続は、初期状態では有効になっています。本製品本体の「電源オン/オフ」ボタンを5秒間長押しすると、Wi-Fiを有効または無効にできます。

# 情報メニュー

リモコンの「情報メニュー」ボタンを押すと、本体ディスプレイの画面がスクロールし、本製品の稼働状況を確認することができます。

空気質、温度、湿度の情報と加湿フィルターのお手入れ時期、空気清浄フィルターの寿命などを表示します。

特定の汚染物質が原因で空気質が低下した場合、本体ディスプレイにその汚染物質のマークが表示されます。



## 室内の空気質 — 直近12秒

直近の12秒間の空気質データをグラフで示します。



## 粒子状物質(PM 10)

ほこりや花粉など、お部屋の空気に含まれる10μmまでのサイズの粒子をモニターします。



## 室内温度

快適な環境を維持するために室内温度をモニターします。



## 室内の空気質 — 直近24時間

直近の24時間の空気質データをグラフで示します。



## 二酸化窒素および他の酸化ガス

燃焼によって空気へ放出される有害となりえるガスです。例えば、調理中に発生するガス、自動車の排気ガスなどです。



## 空気清浄フィルター

フィルター寿命がディスプレイに表示され、フィルターの交換の目安をお知らせします。



## 室内湿度

空気中に含まれる水分量をパーセントで示します。



## 加湿フィルター

加湿フィルターへの水垢の付着レベルと、加湿お手入れ時期の目安が表示されます。



## 粒子状物質(PM 2.5)

たばこの煙や細菌など、お部屋の空気に含まれる2.5μmまでのサイズの微粒子をモニターします。



## Wi-Fi

Wi-Fiネットワークへの接続状態を表示します。



## 揮発性有機化合物(VOC)

VOCは、揮発性の有機化合物の総称です。清掃用製品、塗料および新しい家具から発生する場合があります。



## ホルムアルデヒド(HCHO)\*

室内に浮遊している有害となりえるガスです。一部の家具などから放出されることがあります。



\*PH04のみ

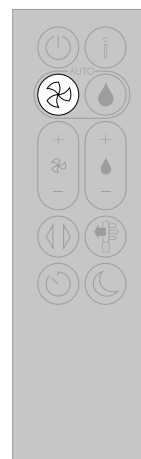
## オート(自動)空気清浄モード

オート(自動)空気清浄モードを選択すると、内蔵センサーのインテリジェント機能が空気質に応じて本製品の設定を調整します。

空気質:目標とする空気質のレベルに到達したことをセンサーが感知すると、本製品は動作を休止し、空気質が低下すると再開します。

風量:目標とする空気質のレベルに到達するまでは、風量を上げて運転します。

ナイトモード:オート(自動)空気清浄モードで使用時、ナイトモードを設定すると、風量を1~4の範囲で運転します。



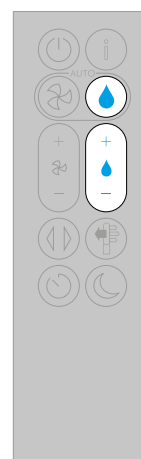
## オート(自動)加湿モード

オート(自動)加湿モードを選択すると、内蔵センサーのインテリジェント機能が部屋の温度と湿度に応じて設定を調整します。

室内湿度:目標とする湿度のレベルに到達したことをセンサーが感知すると、本製品は動作を休止し、室内湿度が低下すると再開します。

風量:目標とする湿度に到達するまでは、風量を上げて運転します。

オート(自動)加湿モードを無効にし、湿度レベルを手動で変更するには、「湿度調節」ボタンを押してください。



## 風向調節/スウィング

「風向調節/スウィング」ボタンを押して、風向角度0°、45°、90°またはブリーズモードをお選びください。

風向調節またはブリーズモードをご使用中に「風向調節/スウィング」ボタンを押すと風向調節またはブリーズモードを休止し、もう一度押すと、再開します。

風向を正面に戻すには、「風向調節/スウィング」ボタンを2秒間長押ししてください。





# 風量と送風方向

風量の増減調節を行うには、「風量調節」ボタンを押してください。

送風方向を正面から背面に変更するには、「送風方向」ボタンを押してください。

送風方向を調節して快適にお過ごしいただけます。

正面から送風しながら空気清浄を行う場合は、送風方向を正面に設定してください。

送風方向を背面に設定すると、浄化された空気を背面に送風します。

送風方向を正面もしくは背面のいずれに設定しても、空気清浄と加湿(設定されている場合)は継続して行われます。

Dyson Linkアプリでも風量と送風方向を設定できます。

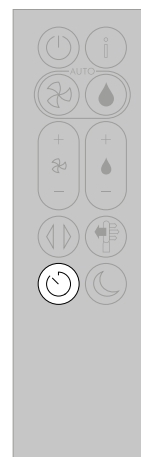


# スリープタイマー

スリープタイマーで予め設定した時間になると、本製品の電源は自動的にオフになります。

スリープタイマーを設定するには、「スリープタイマー」ボタンを複数回押してご希望の長さの時間を選択します。スリープタイマーを設定後、再度「スリープタイマー」ボタンを押すと、選択された時間が表示されます。

スリープタイマーを取り消すには、「スリープタイマー」ボタンを複数回押して取り消しを選択してください。

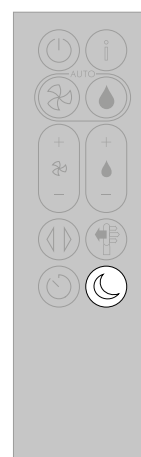


# ナイトモード

ナイトモードでは、本製品は引き続き空気質や湿度をモニターして運転しますが、お休み時に合わせて静音運転に切り替わり、LCDディスプレイが暗くなります。

空気清浄または加湿のオート(自動)モードで使用時、ナイトモードを設定すると、風量を1~4の範囲で運転します。

Dyson Linkアプリでもナイトモードを設定できます。



# 加湿お手入れ

本製品の性能を維持してご使用いただくために、定期的に水垢を除去する加湿お手入れを行うことが重要です。

加湿機能を長期間使用しない場合、使用の前後に追加の加湿お手入れを行うことをおすすめします。

お住まいの地域の水の硬度が高い場合は、加湿お手入れをより頻繁に実行する必要があります。本製品の優れた性能を継続してご使用いただくために、ろ過水を使用することをおすすめします。

お手入れが必要になると、本製品が表示でお知らせします。

Dyson Linkアプリをご利用の場合は、通知メッセージが送信されます。

Dyson Linkアプリをご利用でない場合も、本体のLCDディスプレイにお知らせが表示され、「加湿お手入れボタン」が点灯します。

加湿お手入れを途中で中止するには、「加湿お手入れボタン」を5秒間長押ししてください。

## 重要:タンクのふたは水洗いしないでください

タンクのふたは、「加湿お手入れ機能」で十分に洗浄されます。タンクのふたには、本体に通電するための端子があるため、水で直接洗わないでください。

また、給水やお手入れの際に、端子が水に濡れないよう十分にご注意ください。水に濡れると故障の原因になります。

万一、水に濡れた場合は乾いた布などでよく拭き取り、完全に乾かしてからご使用ください。

## ステップ1

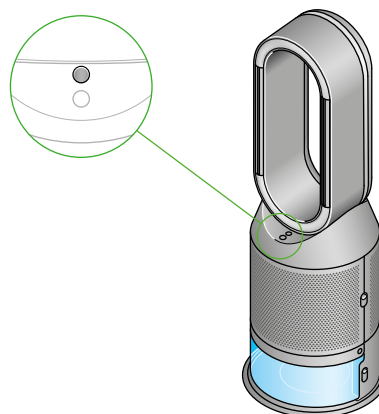
### タンクを取り外す

本体正面の「加湿お手入れボタン」を押すと、LCDディスプレイに手順が表示されます。

フィルターカバーの両側の「フィルターカバー取り外しボタン」を押し下げ、フィルターカバーを外してください。内側の扉が開きます。フィルターカバーを脇に置きます。

タンクの両側にある「タンク取り外しボタン」を押し下げます。

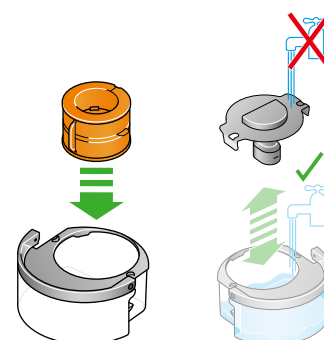
タンクを手前に引いて本体から外し、ふたを外してください。



## ステップ2

### 加湿フィルターを取り出す

本体から加湿フィルターを取り出しタンクに入れ、再度ふたを取り付けてください。



### ステップ3

#### クエン酸水を作る

タンクのハンドルを持ち、シンクへ運びます。

タンクのふたと加湿フィルターを取り外します。

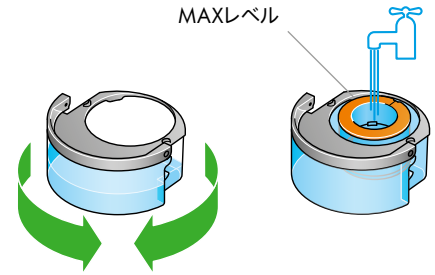
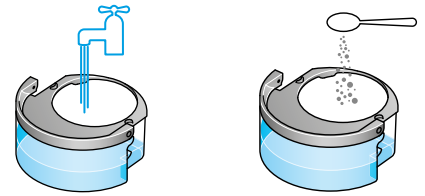
タンクのMAXレベルの半分まで水道水を注いでください。

150gのクエン酸をタンクに投入します。

クエン酸が完全に溶けるまでゆっくりまぜてください。

加湿フィルターをタンクに入れます。

タンクのMAXレベルまで水道水を注いでください。



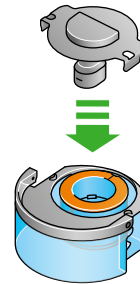
### ステップ4

#### ふたを取り付ける

ふたが、完全に乾いていることを確認し、しっかりと取り付けてください。

濡れた場合は、乾いた布でよく拭き取ってください。余分な水は拭き取ってください。

ふたの外側が濡れた状態でご利用になると、故障の原因になります。



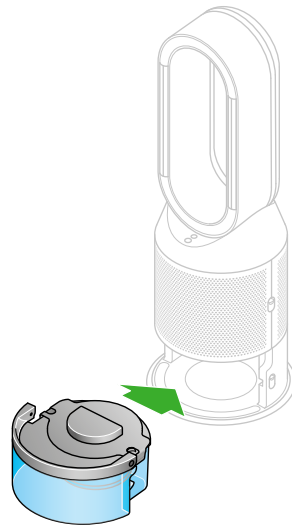
### ステップ5

#### タンクを本体に戻す

本体の所定の位置にタンクをしっかりと押し入れてください。

LCDディスプレイの手順に従って「加湿お手入れボタン」を押します。

加湿お手入れが始まり、LCDディスプレイにカウントダウンタイマーが表示されます。



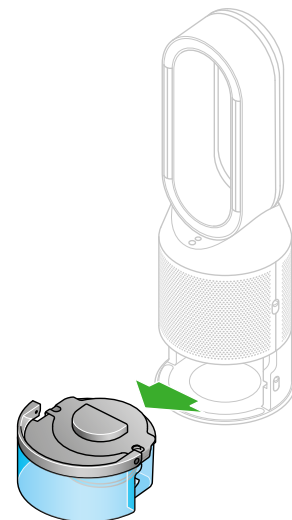
### ステップ6

#### タンクを本体に戻す

LCDディスプレイに加湿お手入れの完了が表示されたら、本体のタンクの両側にある「タンク取り外しボタン」を押し下げてください。

タンクを手前に引いて本体から外してください。

タンクのハンドルを持ち、シンクへ運びます。



## ステップ7

### すすぐ

ふたを外し、タンクから加湿フィルターを取り出し、水道水ですすいでください。

余分な水は拭き取り、加湿フィルターを一旦近くに置いてください。

タンクを水道水ですすいでください。タンクの内部を拭いて、余分な水分やごみを取り除いてください。

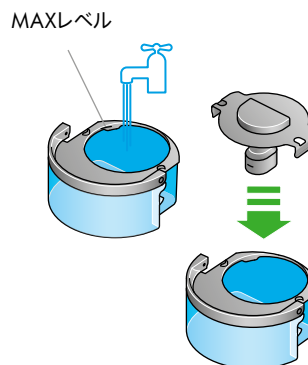
※ご注意:タンクのふたは水洗いできません。水に濡れると故障の原因になります。



## ステップ8

### 給水する

MAXレベルまでタンクに水を注ぎ、余分な水分を拭き取ってからふたをしっかりと取り付けてください。



## ステップ9

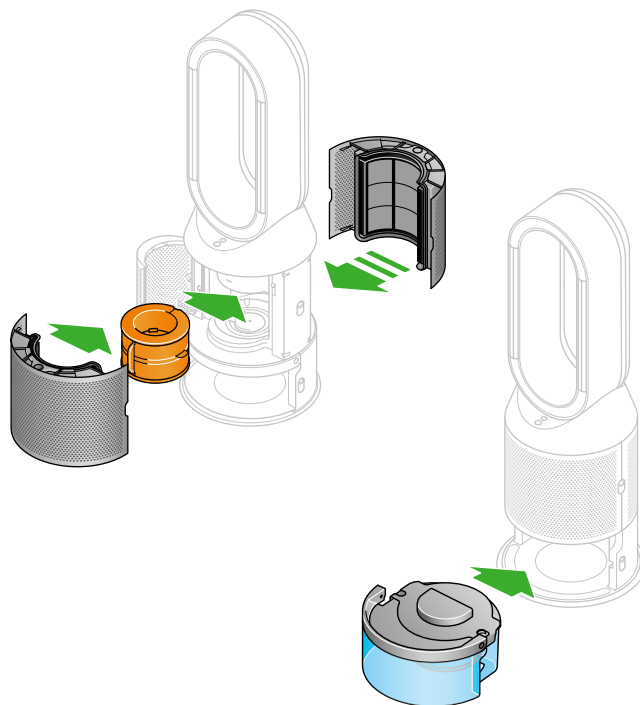
### 本体の準備

本体の所定の位置に加湿フィルターをしっかりと押し込んでください。

内部の扉を閉じ、フィルターカバーを取り付けてください。

タンクのふたが、完全に乾いていることを確認してください。濡れている場合は、乾いた布でよく拭き取ってください。

本体の所定位置にタンクをしっかりと押し入れてください。



# 空気清浄フィルターの交換

フィルター寿命は本体のLCDディスプレイに表示され、フィルターの交換時期をお知らせします。リモコンの「情報メニュー」ボタンを押してください。

Dyson Linkアプリでも確認できます。

交換用フィルターは、ダイソン公式オンラインストアからご購入いただけます。

本製品には、グラスHEPAフィルターと活性炭フィルターが一体化になった空気清浄フィルターが同梱されています。

フィルターを交換する前に、必ず電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

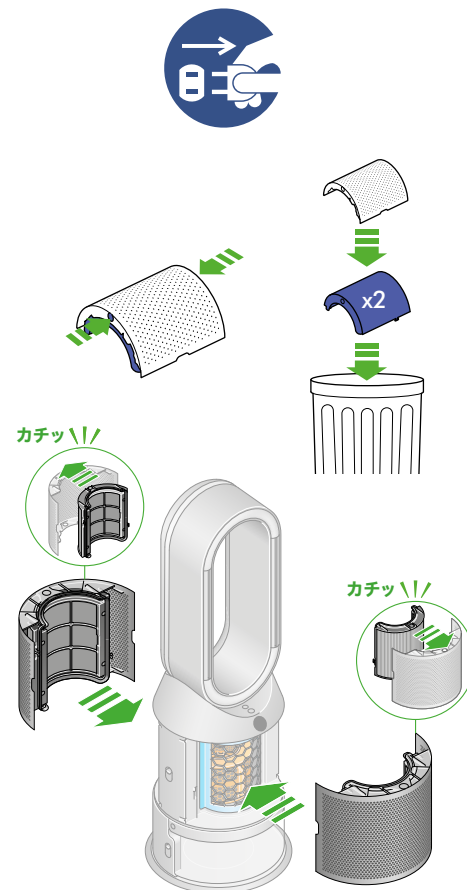
本体側面の「フィルターカバー取り外しボタン」を押し下げ、フィルターカバーを外してください。フィルターカバーの上下にあるタブを押して使用済みフィルターを外します。

新しいフィルターをフィルターカバーに取り付け、上下にあるタブに「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

本体にフィルターカバーを取り付け、「カチッ」と音がするまでしっかり押し込んでください。

電源プラグをコンセントにつなぎ、電源をオンにしてフィルター寿命をリセットします。

※酸化分解触媒フィルター（PH04のみ）は洗浄や掃除などのお手入れや交換は不要で、継続してご使用いただけます。



## フィルター寿命のリセット

**重要:**フィルターを交換した後は、必ずフィルター寿命をリセットしてください

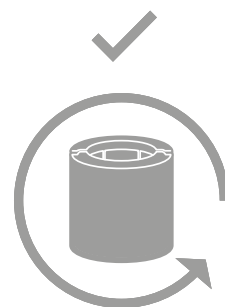
リモコンの「ナイトモード」ボタンを長押ししてください。

本体のLCDディスプレイに5秒のカウントダウンが表示され、5秒後にデフォルト画面に戻ります。

フィルター寿命がリセットされ、本製品を使用する準備ができます。



5, 4, 3, 2, 1...



# お手入れ

本製品が効率的に動作するように、定期的にお手入れを行い、詰まりがないかを確認してください。

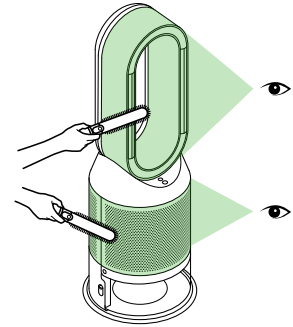
## お手入れ

製品の表面にほこりがたまった場合は、きれいな乾いた布で拭き取ってください。

フィルターカバーの空気吸入口および円形パーツ内の小さな開口部に詰まりがないか点検します。

詰まりがあった場合、柔らかいブラシで取り除きます。

本製品のお手入れには、洗剤やツヤだし剤を使用しないでください。



# エラーコード

## エラーメッセージが表示された場合

電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

そのまま10秒待ち、その後、再度電源プラグをつなぎ、電源をオンにしてください。

エラーコードが引き続き表示される場合は<ダイソンお客様相談室>へご連絡ください。

エラーコードが消えた場合は、そのまま本製品をご使用ください。

LCDディスプレイにその他のエラーが表示された場合は、<ダイソンお客様相談室>にお問い合わせください。



製品に異常を検知した場合、LCDディスプレイにエラーコードが表示されることがあります。

## 長期使用製品安全表示制度に準じた本体表示について

### ■ 本体への表示内容

本製品は扇風機機能を有しているため、経年劣化により危害の発生が高まる恐れがあることを注意喚起するために長期使用製品安全表示制度に準じた表示を本体に行っています。



【製造年】 本体に表示してあります。

【設計上の標準使用期間】 10年

設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けがなどの事故に至る恐れがあります。

(設計上の標準使用期間とは)

- 運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

### ■ 標準的な使用条件：扇風機機能使用時

環境条件	電圧	単相 100V	製品の定格電圧による
	周波数	50Hz / 60Hz	
	温度	30°C	
	湿度	65%	
	設置条件	標準設置	水平で安定した場所
負荷条件	定格負荷 (風速)	1.8m/s	
想定時間等	1日あたりの使用時間	8時間/日	
	1日の使用回数	5回/日	
	1年間の使用日数	365日/年	
	スイッチ操作回数	3650回/年	
	首振り運転の割合	100%	

「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生じる劣化のことをいいます。